

【白鳥川流域】びわ湖よし笛ロードの野鳥

【白鳥川の景観を良くする会】活動の一環として、白鳥川ボランティア活動範囲(約5km)に生息する野鳥を調査しました。自生する生き物を観察する事により自然環境を知り、自然に興味をもって頂くことで自然保全の一因になればと願っています。また恵まれた自然に触れ合う事で心が癒される事と思います。

【再編集発行】

2016年5月7日(土)

白鳥川の景観を良くする会
編集 生き物発見班 鈴木

《留鳥》

①モズ ♂



他の鳥の物まねをする
2012.3.22 撮影

②カワウ ♂♀同色



潜水が得意、羽に油分が少ない
2013.9.29 撮影

③カワセミ ♂



水辺の宝石と言われていました
2014.1.20 撮影

④スズメ ♂♀同色



昔から親しまれてきた野鳥
2014.1.24 撮影

⑤カルガモ ♂♀同色



夏場に見られるカモ
2014.3.1 撮影

⑥バン ♂♀同色



雑食性草の上を歩き回る
2014.3.12 撮影

⑦アオサギ ♂♀同色



日本最大のサギ類
ツルと間違われやすい
2014.4.23 撮影

⑧カイツブリ ♂♀同色



滋賀県の県鳥
2014.5.28 撮影

《留鳥または漂鳥》

⑨ケリ ♂♀同色



キリッキリッ、ケケツと鳴く
ケリの名が付いた
2014.8.17 撮影

①ハクセキレイ ♀



空中で昆虫を捕まえる
2013.8.15 撮影

②ヒヨドリ ♂♀同色



桜の花蜜を吸う
2014.4.18 撮影

③ホオジロ ♂



スズメに似ている
2014.1.24 撮影

④ムクドリ ♂



秋冬は大群になる
電線や大樹に止まる
2014.3.12 撮影

⑤キジバト ♂♀同色



山地から庭先まで馴染む
2014.5.28 撮影

⑥ゴイサギ成鳥夏羽 ♂



夜行性薄暮れ時から魚類を食べる
2014.9.5 撮影

⑦キセキレイ ♂



四季を通じて水辺にすむ
平地～山地に広く分布
2015.1.4 撮影

《漂鳥》

○オオジュリン♂



葦原を器用に移動して昆虫を食べる
2014.1.20 撮影

《留鳥または冬鳥》

○オオバン ♂♀同色



潜水も得意で水草を好む
2014.1.28 撮影

《冬鳥または旅鳥》

○ツグミ♂♀判断困難



地中の昆虫やミミズを掘り出し食べる
2014.3.25 撮影

《夏鳥》

①ダイサギ♂♀同色



シラサギ類中最大くちばし首が長い
2015.5.10 撮影

②チュウサギ♂♀同色



中型で昆虫をよく食べるシラサギ類
2014.2.9 撮影

③イワツバメ ♂♀同色



秋期は大群で葦原をねぐらにする
2014.3.12 撮影

④オオヨシキリ ♂♀同色



大きな口を開けて鳴く
2014.5.6 撮影

《冬鳥》

⑤コチドリ♂♀ほぼ同色



昆虫やミミズを食べる、千鳥足歩行
2014.4.23 撮影

①ヒドリガモ♂



植物の種や葉藻類を好む
2012.3.26 撮影

②コガモ♂



冬一番早くから来て遅くまでいるカモ
2014.1.28 撮影

③キンクロハジロ手前♂奥♀



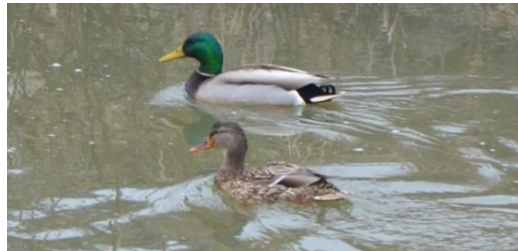
潜水して餌をとる
2014.1.28 撮影

④ジョウビタキ ♂



ツバサの白斑から「紋付鳥」の地方名もある
2014.3.12 撮影

⑤マガモ 手前♀ 奥♂



アヒルは、マガモを改良された
2014.3.1 撮影

⑥カンムリカイツブリ♂♀同色



※琵琶湖では少数が繁殖
2012.4.7 撮影

♂=オス ♀=メス

【写真説明】

留鳥…同じ地域に生息する鳥。

漂鳥…国内を季節によって移動する鳥。夏には山地や北方で繁殖し秋冬になると平地や南方へ移動して冬を越す。

夏鳥…春に日本より南の地域から渡ってきて、日本で繁殖し、秋には南の地域に渡って冬を過ごす鳥。

冬鳥…春から夏に日本より北の地域で繁殖し、秋に日本に渡ってきて越冬し、翌春には北の地域に戻る鳥。

旅鳥…日本より北で繁殖し、日本より南で越冬し春の北上と南の南下の際に日本に立ち寄る鳥。

※自然環境を知るためにも数年周期の調査も検討しています。

白鳥川流域の自然観察について、白鳥川は現在の河川には珍しく、自然豊かな河川で多くの野鳥観察ができます。河川の対岸の野鳥も肉眼で見える範囲にあり、側道には自転車・歩行者専用道路(よし笛ロード)があり野鳥観察には最適の条件かと思えます。また野草植物も140種類以上と多くの種類が確認されています。